

第 20 回 建築行政共用データベースシステム連絡協議会 理事会 議事録 (案)

日 時 令和 2 年 10 月 23 日 (金) 14:00～15:00

場 所 ZOOM によるオンライン開催

資 料

- ・連絡協議会役員一覧
- ・前回連絡協議会理事会 議事録 (案)
- ・建築行政共用データベースシステム 利用状況・登録状況
- ・サブシステムの改修状況
- ・利用料金額の令和 6 年度末までの措置 (案)
- ・既存建築確認台帳の電子データ化について
- ・建築行政・技術情報提供事業
- ・建築情報システム高度化促進事業
- ・連絡協議会入会状況

出 席 者 (敬称略、カッコ内は代理出席者)

会 長 東京都 : 山崎 弘人

副会長 大阪府 : 山添 光訓 (西 晃弘、安森 健章)

理 事 北海道 : 古屋 剛

神奈川県 : 黒川 光訓

広島県 : 吉田 勝則

浜松市 : 瀧口 克也 (石塚 正通)

大阪市 : 中坊 雅信

(株) 日本 E R I : 増田 健

ビューローベリタスジャパン (株) : 川越 茂幸

(株) 確認サービス : 中川 鋭彦

(一財) 静岡県建築住宅まちづくりセンター : 武縄 真次

(公社) 日本建築士会連合会 : 成藤 宣昌

(一社) 日本建築士事務所協会連合会 : 居谷 献弥

事務局 後藤 隆之、木下 一也、鳥居 寿美男、丹治 徹、久保 博史、秋田 和史、
小池 政司

1. 役員紹介 (事務局)

役員一覧及び ZOOM 画面確認により紹介に代えた。

2. 会長挨拶 (東京都 山崎会長)

- ・本年 4 月より、JCBA 会長とともに本協議会の会長を引き受けさせていただいた。
- ・新型コロナウイルスの影響により、当理事会もオンラインでの開催となった。
- ・本年は利用状況の報告のほか、利用料金についても説明があるので、理事におかれましては、忌憚のないご意見を賜りたい。

3. 理事長挨拶（ICBA 後藤理事長）

- ・日頃より当財団事業にご支援いただいていることに、あらためて御礼申し上げます。
- ・現在は、建築行政共用データベースシステム（以下、共用DB）のほか、国庫補助事業による電子申請受付システムの開発にも着手している。
- ・国もオンライン化を進める中、ICBAも的確に対応してまいりたい。
- ・本年は利用状況の報告のほか、利用料金についても説明する。
- ・当理事会においては今後共、皆様の積極的なご参加をお願いしたい。

4. 議 事

（1）前回議事録の確認

気づいた点などあれば、事務局へ連絡する。

（2）利用状況

事務局より、配布資料を基に利用状況等について説明された。

（3）改修状況

事務局より、配布資料を基に改修状況について説明された。

【質疑・要望】

資料 P17、台帳登録閲覧システムの④市民向け概要書閲覧機能について、改修の進捗状況や今後の予定についてお聞きしたい。（浜松市）

【回答】

現在テスト環境で動作確認中であり、本年末頃にはリリースできる予定である。
（事務局）

（4）利用料金額の当面据置案

事務局より、配布資料を基に利用料金額の当面据置案について説明された。

【質疑・要望】

利用料について、資料では単に据え置く旨が記載されているが、据え置くことの背景や必要性などの説明を加えたほうがよい。（ビューローベリタスジャパン）

【回答】

新型コロナウイルス感染症の影響で、利用料金額の次回見直しの基礎となる今年度の確認件数は、現時点では把握できていないが、住宅着工件数を見ると例年より10%強の減となっている。確認件数も同じ動きとなる可能性があるが、いずれにしても特異値となると考えられる。

共用DBはICBAの一事業という側面のほか、全員の共有の財産である。これを安定的に稼働させる責務を負っているという側面もあり、そのための適正な費用負

担を考える必要がある。

その考え方として、確認件数減を補うための単価値上げ等に踏み切ることではなく、安定的稼働の確保のために利用料金額を据え置くという形で対応したい。

(事務局)

(5) その他

事務局より、配布資料を基にその他について説明された。

5. その他

次回理事会・総会は、来年夏頃を予定。

以上